



JICA 海外協力隊便り vol.7



▲イグアス暮らしの相棒はこの子！
今日もふたりで元気いっぱいです



学生たちによるパレード。「デスフィーレ (Desfile)」は
スペイン語で「パレード」を意味する言葉です

現在は環境課の一員として小学校を訪問し、子どもたちに向けて地球環境問題やごみの分別方法などを話し「遊びながら学ぶ」というスタイルで活動に取り組んでいます。また、6月5日の世界環境デーにちなみ、専門機関と共同して地域清掃と啓発のイベントも行い、イグアスの環境を守り続けていこうとみんなで力を合わせています！

そのほか、オンラインで甘楽町と情報交換をしたり、市役所の同僚たちが“Michi no eki” (道の駅) で誕生日を祝ってくれるなど、日々温かい交流に支えられながら活動を続けています。



小学校のプレゼンテーションにて。
ごみの分け方、分かったかな？



きれいなまちを目指していざ出発！
これからみんなで清掃に出発です



思いがけないサプライズに感激！
“Michi no eki” で心に残る誕生日会

¡Hola! ¿Cómo estás? (こんにちは！元気ですか?) JICA 海外協力隊でパラグアイのイグアス市に派遣中の佐藤愛です。

パラグアイの秋(3～5月)にはさまざまなイベントがありました。中でも、パラグアイの独立記念日である5月14日に行われた「デスフィーレ」というパレードはとても盛大で、皆さんの強い愛国心を肌で感じました。私は昨年引き続き写真とビデオ撮影を担当し、数々の美しい場面を記憶に深く刻むことができました。

また、初めて「イグアス移住史料館」を訪れ、日本人移住の歴史について改めて学ぶ機会もありました。現地で暮らす日系人の歩みや思いに触れ、大変貴重な時間となりました。さらに「イグアス聖霊幼稚園」で行われた幼児教育研修会にも参加し、甘楽町の幼稚園や保育園で働いていた頃を懐かしく思い出しました。

館長の案内で移住当時の
貴重な史料を見学



▲日本人移住の歩みをたどる「イグアス移住史料館」を初訪問

◀小さな手でお絵描き。現地の幼児教育を見学しました

